

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	高津区第2グループ(二子・東高津)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30	
	1 二子こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,581人	33,461人	②年間延べ利用団体数	294団体	308団体		
2 坂戸小学校わくわくプラザ ①登録者数	311人	331人	②年間延べ利用者数	21,151人	25,316人			
3 久本小学校わくわくプラザ ①登録者数	497人	458人	②年間延べ利用者数	31,761人	33,703人			
1 東高津こども文化センター ①年間延べ利用者数	30,106人	31,290人	②年間延べ利用団体数	362団体	351団体			
2 東高津小学校わくわくプラザ ①登録者数	502人	509人	②年間延べ利用者数	33,386人	35,259人			
収支実績	単位:円							
1 収入 指定管理料								103,207,452
2 支出 人件費								87,744,691
管理費								6,710,390
事務経費								6,307,159
その他経費								5,057,635
合計								105,819,875
3 差引								-2,612,423
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・久本小わくわくプラザでは、新たな取組として、高津区役所地域みまもり支援センターと連携して「認知症キッズサポーター養成講座」を実施し、110名の児童が参加した。また、区役所危機管理担当と連携して「防災ランチ」を実施するなど、新たな行政との連携に積極的に取り組んでいる。 ・東高津こども文化センターでは、新たな取組として、東高津中学校美術部生徒との交流事業「水遊び&手形アート」を実施し、生徒の活動機会を提供するとともに多世代交流を促進した。 ・こうした取り組みの結果、全体の利用者数が昨年より約1,000人増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。特に、二子こども文化センターでは、子ども運営会議を毎月開催し、子どもの意見を取り入れて集客室の利用について、同一日に同じ人が複数時間帯を予約できないようにルールを変更することにより、より多くの人が利用できるようにするなどの運営改善を行った。 ・特別な配慮を要する児童への対応については、対応方法についての研修を行い、研修成果としてわくわくプラザの1日の行動の流れをイラストとともに順に示した紙を作成し説明する工夫を行うなど、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携については、二子こども文化センターでは、区役所保育所等・地域連携が主催する転入者子育て交流会「ホッとこそだてin高津」に館長が出席し、こども文化センターの活動を紹介したり子育て相談を受け付けたりすることで、活動の周知やニーズの把握に繋がった。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等、多様な媒体を組み合わせた積極的な広報を行っている。また、乳幼児向けたよりや中高生たより等、対象年齢を捉えた広報を行っている。今年度は新たに、病院の保育室にたよりを配布したり、下野毛町会新聞に施設行事のお知らせを掲載したりするなど様々な媒体を組み合わせた積極的な広報を行っている。特に、二子こども文化センターでは、職員が区役所地域みまもり支援センター等による行政の会議や主催事業に参加することで、他の参加者や行政職員と情報交換を行い、主体的に利用者ニーズを把握することで、乳幼児向けたより「二子ニコ通信」の発行回数を年3回から隔月に増やして区役所にも配布するなど、広報や事業の充実にも繋がっている。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおりに開催されている。 ・保護者懇談会について、より多くの保護者が参加できるよう開催日程や時間を調整して開催され、保護者の要望を把握している。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、第2グループ研修では、川崎市総合教育センターの教育相談員を講師に招き「中高生対応研修」を実施した。特に、東高津こども文化センターでは、不登校児童・生徒の事例があったことから、児童の処遇改善に繋げるために職員間で十分な共有を図った。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に、東高津小わくわくプラザでは、握力が弱く特別な支援が必要な児童が小機器を自分で流せるように、水洗ボタンの取換え修繕を実施して自立支援に繋がった。</li> <li>利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っている。全職員に普通救命講習を受講させ市民救命士の資格を取得させるとともに、AEDを使えるように定期的に実習訓練を行っている。館長会議を通じて事故の事例を共有するとともに、実際の事故を基にした事例検討を各館で定期的に行っている。また、実際のヒヤリ事例について、共有ノートを使って全職員で共有するなど、意識向上を図っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、学校や地域子育て支援センター、老人いこいの家等と合同避難訓練を実施している。</li> </ul>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。</p> <p>各館においても、二子こども文化センターでは、行政の会議や主催事業に主体的に参加することで情報交換や利用者ニーズの把握を積極的に行い、広報の創意工夫や事業改善に繋げている。また、東高津こども文化センターにおいては、不登校児童や特別な支援を要する児童の状況を踏まえ、事例に応じた研修を行ったり、設備の修繕を実施したりするなど、職員の資質向上と良質なサービスの提供が行われている。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。</p>
---